

## 柏市立手賀西小学校

### 研究主題

未来社会を切り拓く「つくる力」を高める授業  
～ 一人一台端末を活用した共創活動を通して ～

### 1 研究の概要

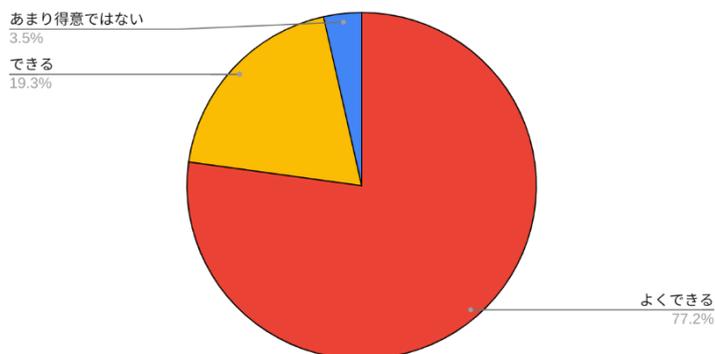
時期	内容	項目
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体研修会で『GIGA Study Plan 資料』を読み合わせ、共通理解を図る。</li> <li>全学級及び専科の Classroom を一斉に作成し、教師・児童の登録を行う。</li> <li>端末持ち帰りについて職員で協議し、持ち帰りの基本ルールを作成。児童に指導及び保護者に書面配付して、ゴールデンウィークに端末持ち帰りを行う。</li> </ul>	研修 研修 持ち帰り
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めての端末持ち帰りの課題として、ジャストスマイルドリルやスライドを使用した日記作成の課題を出した。</li> <li>端末持ち帰りの児童の様子を職員間で共有した。</li> </ul>	持ち帰り 研修
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導案検討会を行う。</li> <li>Net モラルの使い方の研修を行う。</li> </ul>	研修 研修
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回校内授業研究会を行う。(5年理科・6年社会)</li> <li>GIGA実践事例集を入力する。</li> </ul>	研修 研修
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導案検討会を行う。</li> <li>第2回校内授業研究会を行う。(2年算数)</li> </ul>	研修 研修
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>GIGA実践事例集を入力する。</li> <li>第3回校内授業研究会を行う。(4年体育)</li> <li>第4回校内授業研究会を行う。(6年図工)</li> <li>指導案検討会を行う。</li> </ul>	研修 研修 研修 研修
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第5回校内授業研究会を行う。(3年算数・1年国語)</li> <li>GIGA実践事例集を入力する。</li> </ul>	研修 研修
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>GIGA実践事例集を入力する。</li> </ul>	研修
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>GIGA実践事例集を入力する。</li> <li>第6回校内授業研究会を行う。(2年音楽)</li> </ul>	研修 研修

## 2 成果と課題

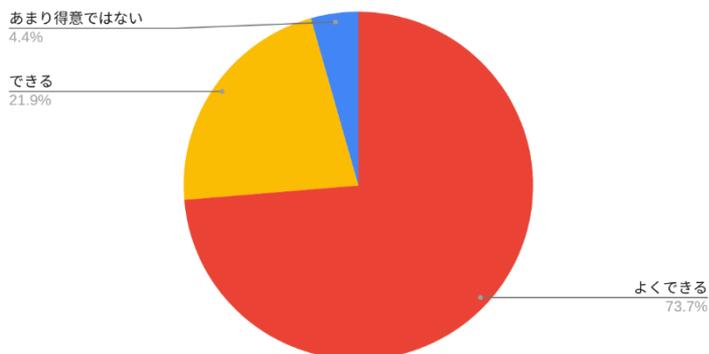
### アンケート結果（柏市情報リテラシーR3年3月版と関連）

#### 【全学年】

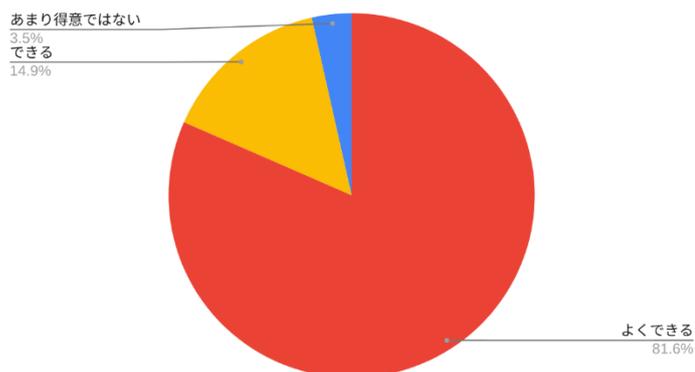
「1. 写真をとったり、とった写真を見たりすることができる。」



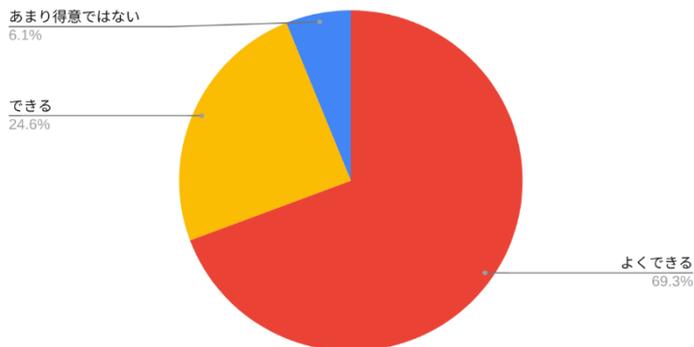
「2. 動画をとったり、とった動画を見たりすることができる。」



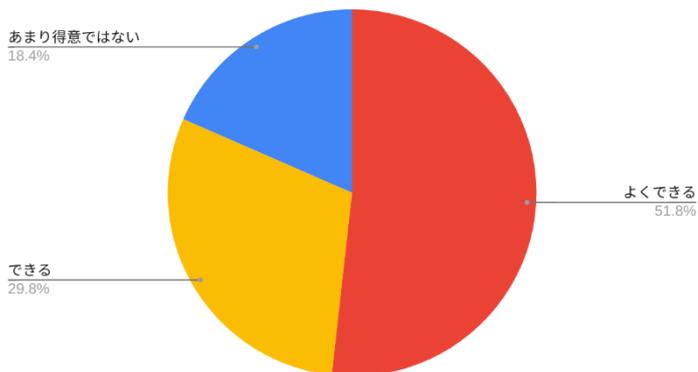
「3. とった写真や動画をけすことができる。」のカウント数



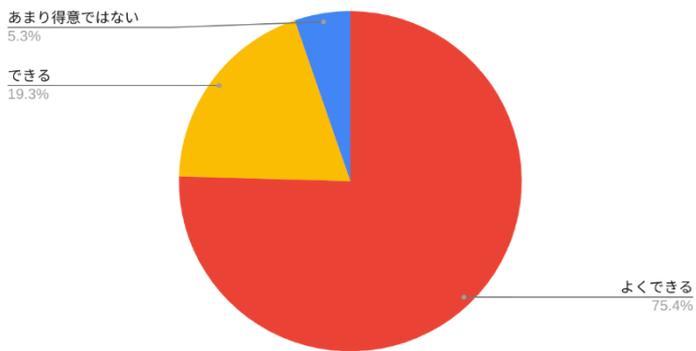
「4. キーボードでローマ字入力ができる。(3～6年) 50音文字入力を使って、文字入力することができる。(1～2年)」



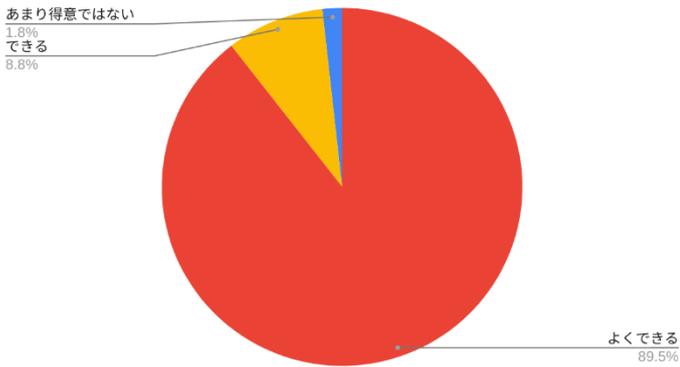
「5. QRコードをよみこむことができる。」



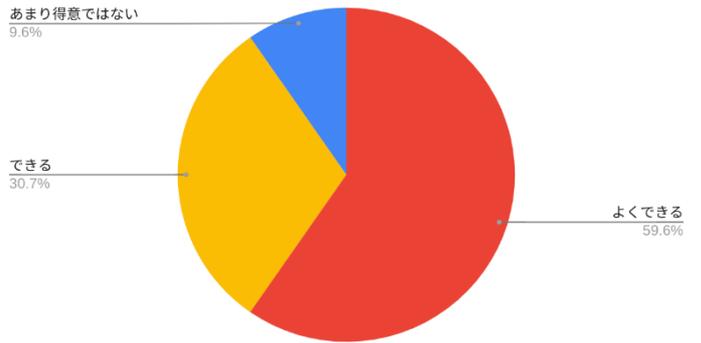
「6. 何かを調べるときに、インターネットけんさくをして調べることができる。」



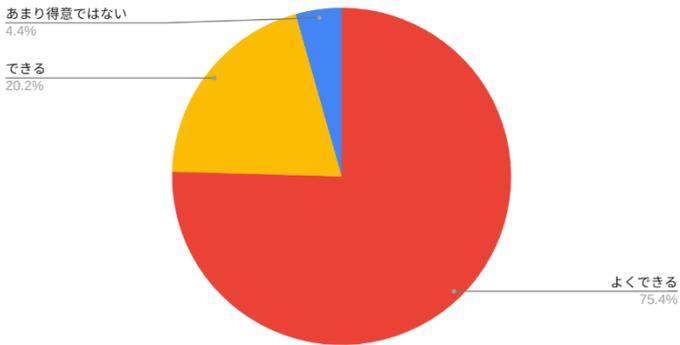
「7. クラスルームに参加することができる。」



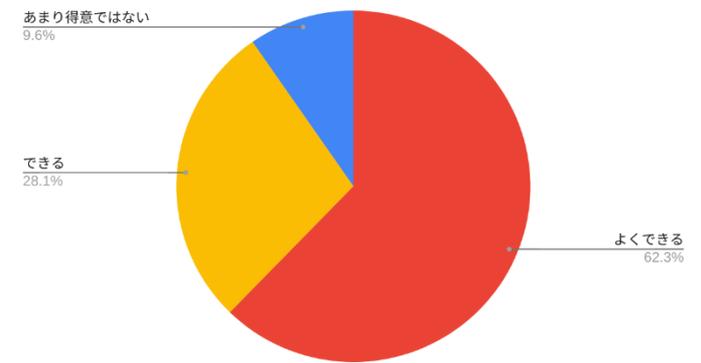
「8. クラスルームのストリームに投稿したり、返信したりすることができる。」の



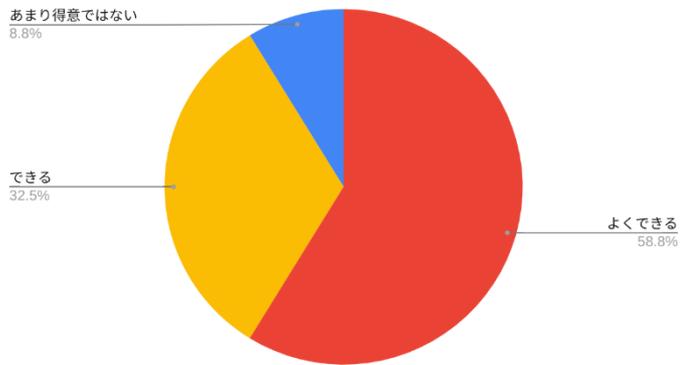
「9. クラスルームの「授業」で出された【課題】をひらいたり、【課題】を提出したりすることができる。」



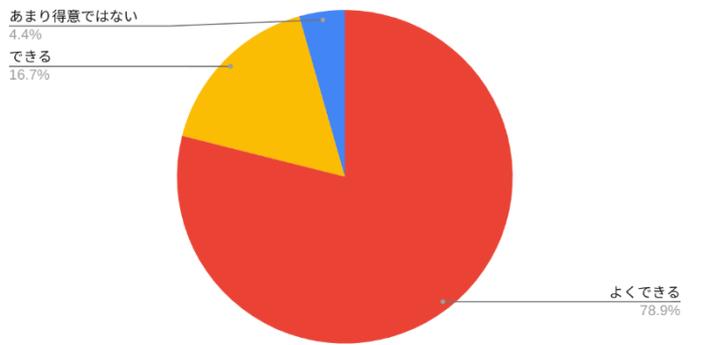
「10. ジャムボードの手書き入力ができる。」



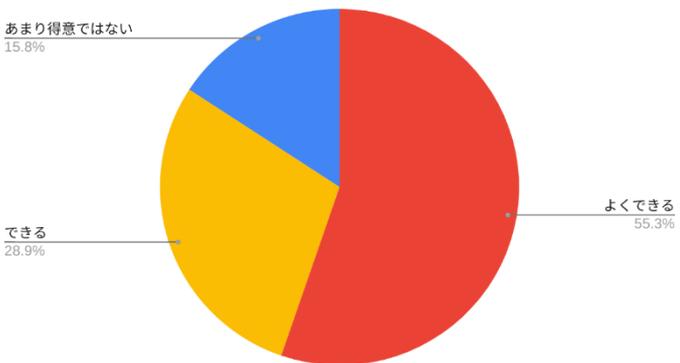
「11. ジャムボードで写真を挿入することができる。」



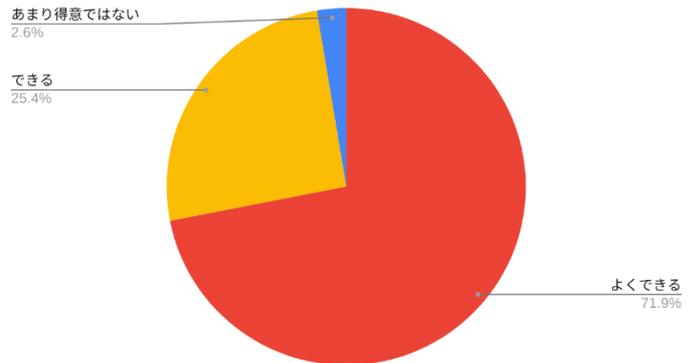
「12. ジャムボードで付箋に文字を書き挿入することができる。」



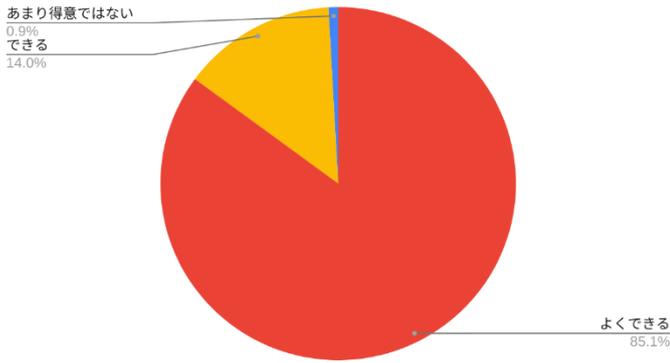
「13. ジャムボードで図形を挿入することができる。」



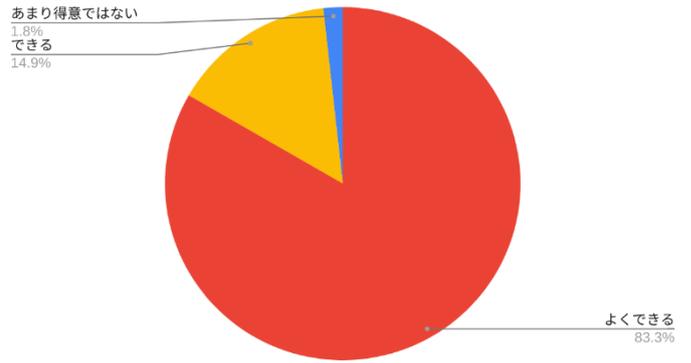
「14. 授業の中でジャムボードを使うことができる。」



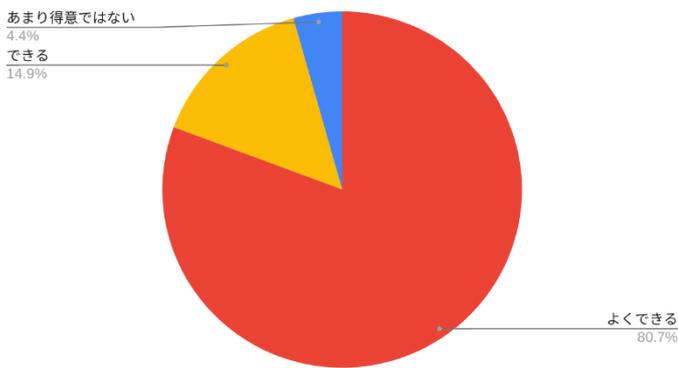
「15. ミートに参加することができる。」



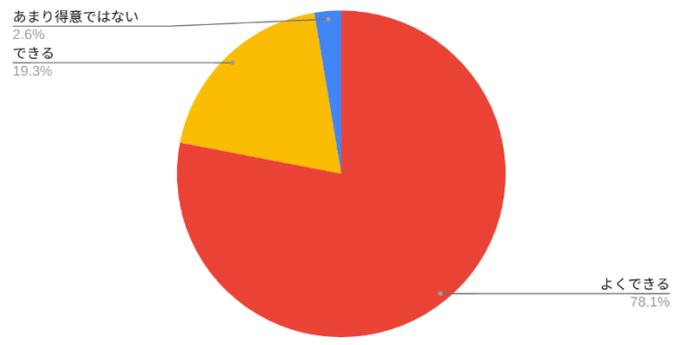
「16. ミートでマイクのオン、オフをすることができる。」



「17. ミートで画面のオン、オフをすることができる。」

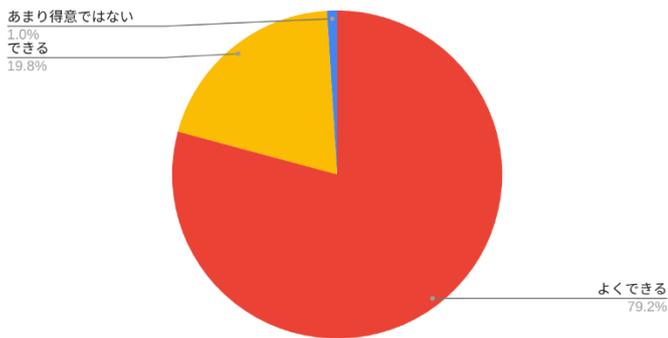


「18. 端末に送られてきたアンケートに答えることができる。」

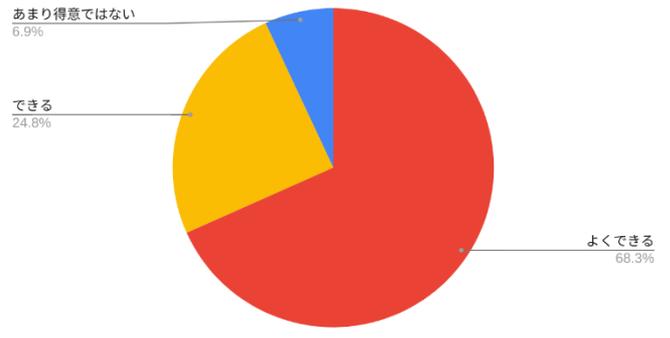


## 【2～6年】

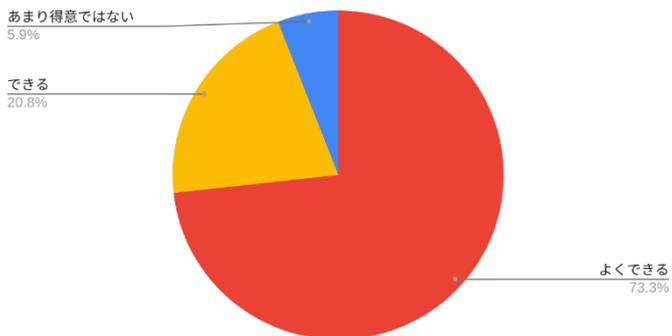
「1. スライドのテキストボックスに文字を入力することができる。」



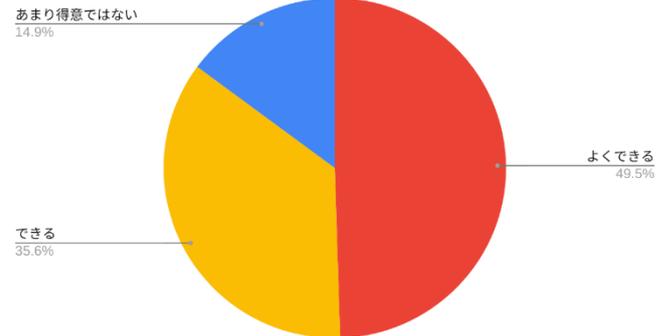
「2. スライドのテキストボックスの装飾をすることができる。」



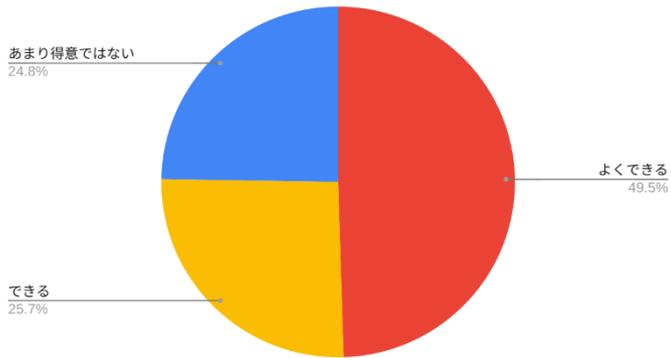
「3. スライドで新しいページを作ったり、ページを消したりすることができる。」



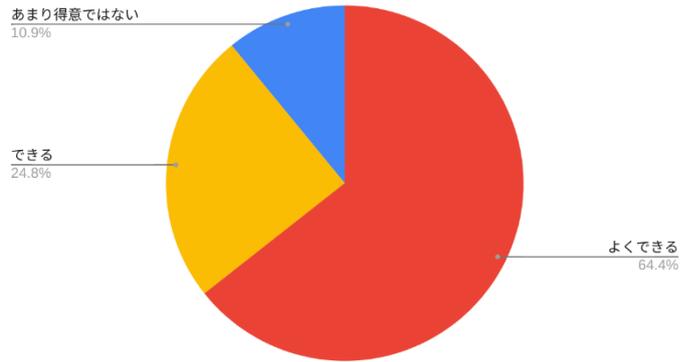
「4. スライドのデザインをかえることができる。」



「5. スライドのアニメーションを使うことができる。」

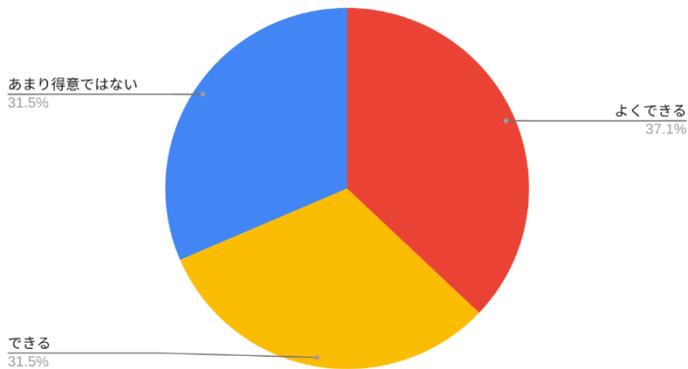


「6. ミートで画面を共有することができる。」

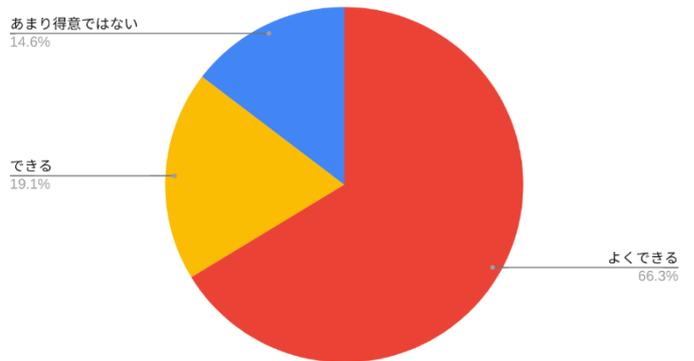


### 【3～6年】

「1. ショートカットキーを使うことができる。」

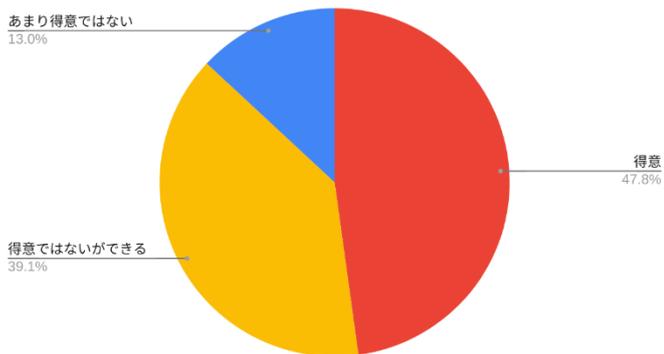


「2. スクリーンショットをすることができる。」

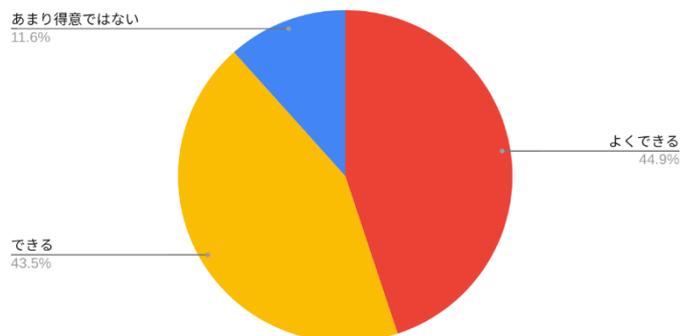


### 【4～6年】

「1. スライドを使って作品を作ることが得意である。」



「2. 授業中に、インターネットを使って調べた文章や画像を、スライドにまとめることはできる。」



#### 【成果】

- 児童のアンケート結果から、全校児童のほとんどが、柏市情報リテラシーR3年3月版Step1のスキルを概ね習得することができた。
- 校内授業研究では、端末を活用して「つくる力」を高めることを主題にしたので、教師全員がまずは端末を使った授業を行おうという意識になった。
- 教師が端末を用いる授業を積極的に行ったことで（年間150事例以上）、児童の情報リテラシーを向上させることができた。
- 教師も端末を活用した授業実践を重ねていくうちに、使用アプリの特徴に気づき、「この単元で使える」「こういうこともできる」など様々なアイデアを生み出すことができた。
- 臨時休行や学級閉鎖中、オンライン授業でもスライドやジャムボード等で課題を出し、みんなが同じ条件で学び会うことができた。
- ミート画面共有やミートのブレイクアウトセッションを活用したことで、オンライン授業でも協働学習を行うことができた。また、児童にそうしたスキルを身につけさせることができた。

#### 【課題】

- スライドは、調べたことをまとめたり、構成メモ、日記などに用いたり、ノート代わりのような活用をすることが多かったので、プレゼンテーションツールとしての活用はあまりしなかった。その結果、「デザイン変更」や「アニメーション活用」の習得に差が出てしまった。来年度は、プレゼンテーションツールとして、発表を意識させて活用させていきたい。
- タイピング能力に個人差があるので、あまり授業でドキュメントを活用しなかった。また、教科学習の中でドキュメントを活用する場面が特になかったため、教師も活用をあまりしなかった。来年度は、「ギガスタディプラン」の端末活用計画を意識して、ドキュメントの活用をしていきたい。
- スプレッドシートは、教師が作成したデータに、児童がセルに入力するだけという活用が多かったため、児童が自らデータを作成する授業はあまり行わなかった。算数や理科などの授業を中心に、来年度は、「ギガスタディプラン」の端末活用計画を意識して、スプレッドシートの活用をしていきたい。
- 本年度は、「まず使ってみる」ことを意識し多くの実践をしてきた。来年度は、どのように端末を活用することで児童の課題発見・解決能力、共創的対話力、主体的創造力を育むことができるかに意識し、質を高めた実践をしていきたい。
- 端末活用と情報モラルの授業が比例せず、端末が原因となってトラブルが起きることがあった。ルールで縛るというより、児童の情報モラルの向上を図るために、来年度は計画的に情報モラルの授業をおこなっていきたい。

### 3 次年度の研究の方向性

「未来社会を切り拓く『つくる力』を高める授業」の研究として2年次を迎える。課題発見・解決能力，共創的対話力，主体的創造力を育むために，一人一台端末の活用を通じた新たな学びのスタイルの構築を目指す。また，子どもの学びを客観的に捉える視点を明確にし，端末の活用法と効果について整理していく予定である。